

—— 総務委員会 ——

委員長 平尾稔幸
副委員長 宮崎正之
副委員長 川村弥恵子

1) 2013年度通常総会

- 2013年5月10日（金） 東京ドームホテル札幌
支部総会： 議案につき可決承認された。
総会員数163名 総会出席者 76名（内委任状42名）
- 表彰式： 学生卒業設計・テスクチャレンジ設計コンペ・北海鋼機デザインアワード
- 意見交換会： 賛助会員及び来賓を交えて意見交換会を開催。

2) 新年交礼会

- 2014年1月24日（金） 京王プラザホテル札幌
- 新年交流会： 同日、賛助会主催の新年交流会に参加。 計133名
出席者正会員51名 賛助会員82名（47社）

3) 支部総務委員会

- 会員募集のためのリーフレット改訂。
- 各事業への協力。
- 入退会に関する事務手続き。

4) 本部総務委員 無し

— 職能業務委員会 —

委員長 齊藤文彦
副委員長 中原隆一
副委員長 小倉寛征

本委員会では、

- ① 北海道建築設計会議の構成団体幹事
- ② 本部業務職能委員会委員
- ③ 職能業務に関するセミナー開催
- ④ その他関係団体による会議

についての活動を行った。

何れも業務環境の向上と他団体との情報共有を目的としている。

- ① 北海道建築設計会議（建築設計関連の 11 団体(10 団体+新聞社)で構成している北海道独自の会議)、に毎月の参加活動を実施している。昨年度は計 10 回開催され、特に各団体の法人化情報や、各会の動向について情報交換を行った。25 年度は、JIA 北海道大会において、札幌市地下歩行空間での展示の一つとして当会議および参加団体のパネル展示を行った。なお、10 月から 1 年間代表幹事を務めている。
- ② 部業務職能委員会は、法人の体制変更にとまなう見直しで委員会がなくなった。
- ③ 職能業務に関するセミナー開催：平成 26 年 1 月 29 日、「建築家のためのコンプライアンス入門」と題したセミナーを開催した。講師は、一級建築士の資格を有する吉田可保里弁護士にお願いし、不法行為や瑕疵担保保証など設計者が知るべき法制度を解説いただいた。
- ④ その他関係団体による会議：北海道開発局、北海道、札幌市、建築士会、建築士事務所協会と JIA による公共建築設計懇談会および同幹事会に出席し、公共の取り組みや業務上の課題について確認・協議した。また、全道確認円滑化対策連絡協議会及び全道建築行政連絡会議への対応も行った。

委員会としては、今後も建築家の職能と業務品質の向上を目指し活動していく。

— 広報委員会 —

2013年度の活動報告

本年度は、広報担当、システム担当、出版担当に分かれての活動と共に、各担当の枠を超え委員皆で、9月に開催された JIA 建築家大会 2013 北海道に全力で臨みました。

北海道大会では、広報活動に関わる準備を協力会員の皆様のご協力をはじめ支部の皆様のお力もお借りししながら皆ですすめさせていただき、JIA 建築家大会 2013 北海道には会員、関係者の皆様のご参加と共に、沢山の一般の方々のご参加も賜われたのかと顧みるところでございます。

出版担当はこの北海道大会に合わせ、昨年度より準備をすすめてまいりました「建築家カタログ 北の住まいを建築家とつくり vol.5～北の建築家との家づくり+αの Design」を皆様のご協力により予定通り4月末に発売をさせていただきました。併せて紀伊国屋書店札幌本店にて開催致しました発売記念イベントも盛況裏に終わり、北海道大会での販売も併せ本年度末での販売状況も好調でございます。

支部ホームページも引き続き、随時マイナーチェンジをしておりますので、皆様からお気づきの点、ご意見等をいただければ幸いです。

- 委員長 : 照井康穂
- 広報担当 副委員長 : 日野佳子
委 員 : 大坂崇徳、小倉寛征、小杉朋希、高尾浩宣、
平尾稔幸、湊谷みち代、山内圭吉
- HP システム担当 副委員長 : 大塚達也
委 員 : 石塚和彦、沢田貞和
- 出版担当 副委員長 : 岡田順博
委 員 : 石塚和彦、大杉崇、灘本幸子、前川尚治

委員長 小杉 朋希
副委員長 山内 圭吉
副委員長 豊山 孝雄

1) 建築展・講演会・活動

本年度はセミナー系の主催が無かった。

・北のジュニアオープンデスク（教育委員会）

7月26～8月8日：オープンデスク開催 帯広工業高校3人（(有)設計工房アーバンデザイン）

8月9日 同上交歓会・見学会開催 大成札幌ビル施設見学

上遠野支部長・豊山孝雄・小杉朋希

見学施設紹介者：大成建設株式会社 札幌支店設計部 設計グループ 伊藤肇氏

・高校生デザインコンクール

6月12日：北海道建築整備室主催第1回運営委員会参加（応募要項等についての審議）

9月18日：作品選定会 審査委員として遠藤謙一良氏

12月18日：北海道建築整備室主催第2回運営委員会参加（事業報告及び決算・次年度予算報告）

・北海道高等学校建築教育研究協議会参加（教育委員会）

10月17・18日：札幌工業高校にて 豊山孝雄

・10月5,6日 札幌市イベント ミニ札幌 本年は技術協力のみで実働は無。

・8月31日～：全国大会での事業系のサポート（主に教育文化会館での大会式典の準備・運営）

○ここ数年大きな大会が多く小中事業の展開が手薄になっていたが今後はより積極的な事業の開催が望まれる。

2) 第5回テストチャレンジコンペ

第5回のJIAと(株)テスト共同主催の設計コンペに関して、大杉崇委員長とする実行委員会を中心として12月～6月までの公開審査までサポートを行っている。

12月～：月1回の会議招集・運営サポート

2月17日：要綱発表

4月30日：登録〆切り

5月30日：応募〆切り

6月22日：公開審査 札幌駅地下歩行空間

1月23日（予定）：2014年度新年恒例会において表彰式予定

本年度審査委員長は 札幌市立大学 斉藤雅也 先生

審査員：(株)テスト代表取締役社長 丹英司様、室蘭工業大学大学院准教授 山田深

、上遠野克支部長、JIAより石塚和彦

懸賞旅行に関しては(株)テストが主導して手配予定

○支部事業としてのテストコンペも第5回目を迎え、実行委員会での主導が軌道に乗って来たのでサポートの方向性を考慮し、他事業に力を入れる時期に来たと考えられる。

— 2013 年度旭川会活動報告 —

- 2013/4/16 【2013 年度第 1 回旭川会会議】2012 年度活動報告、2013 年度活動計画
旭川会運営体制について、新会員勧誘ほか
- 2013/5/10 【2013 年度北海道支部通常総会】軽部、大矢、石田 出席
- 2013/5/21 【第 1 回正副委員長会議】 軽部出席
- 2013/5/30 【Asahikawa School 5 「市街地のアクティビティ」】開催 参加者数：12 名
- 2013/6/07 【旭川エクスカーション臨時会議 1】旭川エクスカーション開催実施提案の検討
- 2013/6/12 【2013 年度第 2 回旭川会会議】 旭川エクスカーション企画、予算の検討
Asahikawa School 6 の企画内容検討
- 2013/6/18 【第 2 回正副委員長会議】軽部、石田出席、旭川エクスカーションの企画概要説明
- 2013/6/25 【2013 年度第 3 回旭川会会議】旭川エクスカーション準備検討、7～9 月期予算ほか
- 2013/6/29 【旭川エクスカーション臨時会議 2】織田コレクション収蔵庫の現地視察と展示計画の検討
- 2013/7/12 【Asahikawa School 6 プレゼミ】開催 参加者数：14 名
Asahikawa School 6 「ルイス・カーンの建築を語る」に先立ち、
「マイアーキテクト」DVD 鑑賞会を開催
- 2013/7/23 【第 2 回幹事会及び 2013 北海道大会委員会】 軽部出席
- 2013/7/25 【2013 年度第 3 回旭川会会議】 旭川エクスカーション企画、予算の検討ほか
Asahikawa School 7.8 の企画内容について
- 2013/7/26 【Asahikawa School 6 「ルイス・カーンの建築を語る」】開催 参加者数：23 名
- 2013/8/7 【全国大会委員会】石田出席、旭川エクスカーションの準備状況説明
- 2013/8/17 【旭川エクスカーション リハーサル】 スケジュール、行程の確認、参加 9 名
- 2013/9/3 【旭川エクスカーション 設営】織田コレクション収蔵庫展示設営 参加 4 名
- 2013/9/4 【旭川エクスカーション臨時会議 3】旭川エクスカーションについての最終打合せ
- 2013/9/8 【旭川エクスカーション 織田コレクションの鑑賞とまちなか建築探訪】開催
運営参加 8 名
- 2013/9/10 【旭川エクスカーション 撤収】織田コレクション収蔵庫展示撤収 参加 4 名
- 2013/9/20 【Asahikawa School 7 「ウランバートルの都市設計」】開催 参加者数：16 名
- 2013/9/24 【第 3 回正副委員長会議】軽部出席
- 2013/10/25 【Asahikawa School 8 「旭川平和通買物公園に見る「通り」のイノベーション」】開催
- 2013/10/29 【第 3 回幹事会】 軽部出席
- 2013/11/14 【2013 年度第 6 回旭川会会議】 旭川エクスカーション収支報告・記録ビデオ鑑賞
Asahikawa School 9 の企画内容について
- 2013/11/26 【第 4 回正副委員長会議】軽部出席
- 2013/12/10 【北海道支部忘年会・地区会次年度活動計画の発表】軽部、石田出席
- 2013/12/17 【Asahikawa School 9 「木質バイオマス施設のこれから」「忠和の家」】開催
- 2013/12/28 【旭川会忘年会】出席数：8 名
- 2014/1/24 【第 4 回幹事会】 軽部出席、【2014 年北海道支部新年交礼会】軽部、大矢、石田出席
- 2014/1/28 【Asahikawa School 10 「川のまち旭川の今と昔」】開催 参加者数：13 名
- 2014/2/25 【第 5 回正副委員長会議】軽部出席
- 2014/2/26 【Asahikawa School 番外編 旧北瑛小学校リノベーション現場見学会】開催
- 2014/3/11 【Asahikawa School 11 「マルタ・パリ～街歩きと建築」】開催 参加者数：10 名
- 2014/3/13 【2013 年度旭川会臨時打合せ】支部長会議 IN 旭川の行程立案など
- 2014/3/25 【第 6 回正副委員長会議】軽部出席

2014 年 3 月 31 日
委員長 軽部 望

—— 道東地区 ——

委員長 眞壁 喜男
副委員長 小野寺 一彦

■ 2013年8月31日～9月8日

J I A建築家大会2013北海道で札幌駅前通地下歩行空間「チ・カ・ホ」にて地域会展示として釧路・帯広の環境・街並み・地域で活動する建築家の作品等をパネルで紹介。

■ 2013年11月15日～11月17日

釧路の「月曜塾」と共催し釧路高専建築学科、釧路工業高校建築科、釧路白樺幼稚園と共に釧路芸術館にて建築展「集合！くしろ建築設計団」を開催しました。幼稚園児のブロックを使つての模型や絵画、学生の卒業設計、J I A道東地区の企画展、月曜塾員の作品を展示しました。参加してくれた園児たちには「こども建築設計士」の免許が授与されました。

来場者数は3日間で延べ100名弱でした。



1) 2013年11月29日 於 zero studio

ACTUS・in ZONE と今後のコラボレーションの可能性について懇談。

市民へのアウトリーチとしてのインテリア・エクステリア等のプレゼンやセミナー、
建築 vs インテリア vs インテリアエレメント（家具、ファブリック等）の関係の中でデ
ザインを訴えるアクションなどが案として挙がる。

出席者：小澤・ACTUS から 2 名・ in ZONE から 1 名

2) 2013年12月-2014年2月

横濱建築祭 2014 への参加に向けての準備

3) 2014年3月2日（日）11：00～12：45 於 横浜創造都市センター

横濱建築祭 2014 まちづくりシンポジウム「歴史・文化を継承しつつ街を賑やかにす
る手法」へゲストパネラーとして参加。

横濱のパネラー3名より関内地区の歴史と現況について解説後、函館西部地区のファサ
ードの写真をプレゼンに用い、3名それぞれの関わり合いを述べ同地区の30年の移り
変わりを概観した。その後質疑応答に移行、最後に吉田町（関内）の雑居ビル「泰生
ビル」のコンバージョンによる活性化を巡るエピソードのやりとりがあり、盛会の内
に幕となった。

主催：JIA 神奈川（関東甲信越支部地域会）

函館地区会チーム：小澤武・水谷哲大・富樫雅行

- 1) 2013年9月2～4日、JIA北海道大会に先駆けて、「JIA北海道大会 JIA環境行動ラボオプショナルツアー」を行った。1日目はニセコばあちゃん家（倉本龍彦）、アグデパンケ農園の住宅（小室雅伸）を見学、2日目は大杉邸、旧新谷邸、赤坂邸、照井邸を見学し、夜はKBにてJIA北海道支部の会員と懇親会、3日目は道工大キャンパスの施設、手稲やまなみ保育園（小室雅伸）の見学を行った。

- 2) 環境行動ラボに関する活動報告
 - JIA北海道大会にて、シンポジウム「2020年省エネ基準適合義務化とJIA建築家」を9月5日に開催した。
 - JIA北海道大会にて、ジョイントセミナー「北方圏での環境建築デザインと環境技術紹介」を9月6日に開催した。
 - 伝統木造建築における2020年省エネ法適合義務化の問題点を議論する公開シンポジウム「伝統的木造住宅と省エネルギー」を2014年3月15日に東大弥生講堂一条ホールにて、建築士連合会、建築学会、木の建築フォーラムとの共催で開催した。

 - 全国20箇所で開催された環境省エコハウス事業の報告書「エコハウスへの誘い」（鹿島出版会）が、2014年2月20日に刊行された。

（小室雅伸）

——支部建築家資格制度委員会——

委員長：大田 司 副委員長：中藪 則喜 大坂崇徳
委員：羽柴 功一、山之内 裕一、澤 康昌、岡田順博

■ 本部・資格制度委員会（WEB会議・北海道大会シンポジウム）

JIA 北海道大会まで月 1 回、資格制度のありかたについて、議論を行いました。

大会では、登録建築家の将来像として、『JIA 正会員ルート』と『社会制度ルート』について話し合いを行いました。また、建築士事務所協会や建築士連合会と 3 会で進めている『設計監理業務法』の話し合いの経緯も報告されました。いずれも、時間がかかる協議のため、今後の職能・資格制度委員会で制度の見直し含めて継続協議していくことになります。

■ 実務訓練部会

昨年度末、実務訓練生の移動（独立、他分野への転職等）があり、勤務先の業態が異なる事、実質的に、登録建築家の元で実務訓練が行えない等の理由により継続が困難な状況となっております。ただ、実務訓練を行えない期間があっても継続できることが可能なため、その旨は伝えております。

■ 登録建築家更新審査

2014 年 3 月には、登録建築家更新審査を行いました。

今回の更新予定者は北海道支部全体で、予定者 31 名+再登録 1 名の計 32 名ですが、実際に更新の手続きをされたのは更新 28 名+再登録 1 名で更新率は 90.3%でした。（3 名は更新を希望されませんでした。）

3 月 4 日、申請内容の調査を支部資格制度委員会で行い、支部認定評議会による審査を 3 月 12 日に行いました。評議会では、29 名全員の更新要件審査を行い、9 条 3 の一部要件を満たしていない 1 名については更新保留とし、本部認定評議会へ審査結果を送付しました。

その結果 3 月 29 日の本部認定評議会で 28 名の更新と 1 名の再登録が認定され、保留者に関しては、必要書類を提出していただくことになりました。

■ 登録建築家の新規認定審査

今回は、新規申請がありませんでした。今後の JIA の会員要件を登録建築家制度と合わせていくことから、申請資格のある会員は、登録建築家の資格取得するよう広報していくことが必要です。

以上、2013 年度、支部建築家資格制度委員会の活動報告です。

—— 建築相談委員会 ——

委員長 奈良 顕子
副委員長 國澤 全克

2013年度内に、建築相談はありませんでした。

JIA全国大会の中で、2013年9月5日に、2013年度第3回建築相談連絡会議を教育文化会館にて開催し、全国より7人が集まりました。また、大会中、札幌駅前通地下歩行空間にて10枚の建築相談のパネル展示を行いました。

委員長 笹栗 達夫
副委員長 山道富美男

北海道の「北海道震災建築物応急危険度判定連絡協議会」の対応とJIA災害対策委員会の支部窓口の委員会です。

阪神・淡路大震災や新潟県中越地震などの震災が多くの被害をもたらし、多くの貴重な教訓を残しました、被災建築物による二次的被害を防止・軽減するための「応急危険度判定」が重要とされ、平成7年度以降、震災建築物応急危険度判定士の認定・登録や全国の判定協議会と連携が行われ、北海道でも各支庁の協議会や建築関連団体が協力して相互支援の連絡協議会の早期の設立が求められ「北海道震災建築物応急危険度判定連絡協議会」は2006年2月より活動をはじめています。

また、2013年12月からはJIA本部災害対策委員会と連携することとなり北海道支部の災害対策委員として笹栗が参加しており、JIA全体としての災害時の支援活動の枠の中に位置づけられるようになっていきます。

2014年度からは新たな北海道支部の災害対策委員会の立ち上げを行います。

■ 13年度活動報告

- 4月19日、6月20日、7月23日、8月29日、9月30日、10月21日
2月19日、3月19日 WEB会議参加（笹栗）
- 4月6～8日 宮城ボイス（震災復興シンポジウム2013）参加（笹栗、山道）
- 9月5～8日 JIA北海道大会2013
震災復興シンポジウム＋災害対策委員会セミナー開催（9月5日）

2013年度の活動報告

本年度は、9月に建築家大会2013北海道が開催され無事成功裏に終えることができました。この大会に合わせ国際交流を持つCOACカタルニア建築家協会のメンバーと、展示及びセミナーの開催を目指し調整を行いました。しかしスペインの経済事情等もありまして実現には至りませんでした。

その折りには仲介的な立場をしていただいております田中裕也氏にもご尽力頂きました。田中氏自身には大会時にセミナーをしていただきました。

国際交流委員会としましては、カタルニアの建築家との交流企画を改めて計画したいと考えております。

また、2014年度は8月にアフリカでUIAダーバン大会が開催されます。JIA北海道支部からも多くの会員が参加されますことを希望いたします。

■ 委員長 小西彦仁

1) JIA 全国学生卒業設計コンクール 2013

毎月の WEB 会議を行ない、全国 JIA の担当者の協力のもと自主費用により、新宿アイランドタワーBF1F・アクアプラザにおいて JIA 全国学生卒業設計コンクール 2013 開催致しました。

北海道支部から選出された 3 名、浦本 義幸君(北海道工業大学)、丹治 和仁君(北海道工業大学)、中野 剛育君(北海道工業大学)が参加、丹治君と中野君がファイナリストに残りましたが、惜しくも入賞はなりませんでしたが、各支部、地域会から選出された全国の作品を前に審査員、各支部地域会担当者、学生達が真剣な議論と評価を繰り返す、建築家が選ぶコンクールは、学生達の心に残る、全国で試される良いコンクールでした。

2013 年 6 月 28 日(金)作品搬入

6 月 29 日(土)公開審査、講評、表彰、懇親会

6 月 30 日(日)展示会、作品搬出

審査委員 北川原温(審査委員長)、今川憲英、野口秀世、妹島和世、平田晃久(敬称略)

2) JIA 北海道支部学生卒業設計コンクール 2014 審査経過

2014 年 1 月 14 日 ワーキンググループにて日程、各大学、高専、短大、専門学校に案内を発送

2014 年 2 月 15 日 ワーキンググループにて審査員を確定

審査員長 中山 眞琴 (ナカヤマアーキテクト) JIA 会員

審査員 山内 圭吉 (山内圭吉建築研究所) JIA 会員

審査員 畠中 秀幸 (スタジオシンフォニカ) JIA 会員

以上の三氏による審査を決定

3 月 1 日(土) STV 北 2 条ビル B1F 会議室において公開審査にて厳正な審査の基、審査員の投票結果をもとに協議し、金賞 1 点、銀賞 1 点、銅賞 1 点、四位、審査員特別賞 2 点選出。

5 月 8 日(金) JIA 北海道支部総会において各賞の表彰状を授与予定。

審査風景 (全国)



公開審査風景（北海道支部）



入賞者

受賞者	賞名	作品タイトル(サブタイトルまで)	氏名	大学(学部不要)
坪内 健	金賞	彼らからの返答		北海道大学
成ヶ澤 はるみ	銀賞	ストックミュージアム～敦石と暮らすアーキ・リーチャー～		北海学園大学
山崎 貴生	銅賞	玄奥～北国の商ふ路地～		北海学園大学
佐藤 孝祐	審査員特別賞	雪の街で暮らす。		北海道工業大学
可香 葵	審査員特別賞	生命の諧調		北海道工業大学
長沢 麻未	審査員特別賞	ゆく川の流れ～北海道富良野市の温水溜池施設における親水空間の提案～		札幌市立大学
参加者(全参加者)	—	作品タイトル(サブタイトルまで)	氏名	大学(学部不要)
高橋 秀承		育む場所 帰る場所		北海道芸術デザイン専門学校
佐藤 啓太		水平屋根の家		北海道工業大学
深谷 竜也		無窮樵路～忘却した胎懐に融和する～		北海学園大学
石月 健太郎		映画的自己～記憶の筒～		北海学園大学
小林 花織		—た—		北海学園大学
笹島 麻代		此方より彼方へ		札幌市立大学
船山 哲郎		標 ～風情を感じる空間～		札幌市立大学
丹野 健斗		Co- ～都市における複合施設～		室蘭工業大学
加持 亮輔		共生の脈		北海道大学
久保山 航希		海光の器		北海道大学
井上 桂輔		赤金の森		北海道大学

—— 選挙管理委員会 ——

委員長 橋本 敏明

2013年度支部役員の任期満了に伴う支部幹事及び監査役の改選選挙を実施しました。支部幹事のうち11名、支部監査のうち1名が改選となり、その後の支部総会で選任されることとなります。3月6日に第一回告示を行い3月17日に届出を締切りましたが、期日までに届出があり定員に達しませんでした。3月18日に改めて第二回告示を行い、締切り期日までにそれぞれ定数の立候補届け出があり受理しました。

資格審査の結果、支部選挙規定に全員適合しておりましたので次期幹事及び次期監査として当選人に決定いたしました。

—— 支部規約検討委員会 ——

委員長 橋本 敏明

支部規約検討委員会は、JIAの公益社団法人移行に伴う規定等見直しの内、北海道支部規約の改定案を作成しました。本部総務委員会の指導の下、北海道支部総務委員会と協力して前年度より作業を進めてきた支部規約全面改定案を、4月9日役員会了承の後5月10日北海道支部総会にて第6号議案として報告し、承認されました。その後、本部における理事会での支部規定改訂にともない、北海道支部規約との整合性を本部にて確認の後、支部規約改定案が決定されました。

—— 住宅部会 ——

住宅部会代表世話人 灘本 幸子
副代表世話人 前川 尚治
副代表世話人 五十嵐雄祐
会計世話人 小尾 慎
I T世話人 鷺見 健二
世話人 赤坂 真一郎
： 石塚 和彦
： 大杉 崇
： 小杉 朋希
： 新貝 孝之
： 森 徳彦
監 査 真壁 喜男

- 2013年5月27日 住宅部会総会開催
6月12日 2013年度 第1回世話人会開催
(北海鋼機 JIA カラーについて・住宅賞について)
7月12日 2013年度 第2回世話人会開催
(JIA 建築家大会 2013 北海道について)
8月31日
～9月7日 JIA 建築家大会 2013 北海道 住宅模型展+JIA 各賞パネル展示
9月6日 第5回住宅部会連絡会議
10月31日 2013年度 第3回世話人会開催
(JIA 北海道支部住宅部会 住宅賞について)
11月3日 2013年度 JIA 北海道支部住宅部会 住宅賞 選考委員会による
応募作の住宅見学会開催
11月15日 2013年度 JIA 北海道支部住宅部会 住宅賞 住宅レビュー
及び受賞者の発表 (会場：大光電機ショールーム)
(フキノトウ賞4作品、ハルニレ賞6作品)
ハルニレ賞 : 堀尾浩
(作品名) 当麻の家
フキノトウ賞 : 大杉崇
(作品名) イヌエンジュの家
キタコブシ賞 : 越野武
12月12日 住宅賞授賞式 (KBビル5階 (画工房) ケニー・バレル)
3月13日 2013年度 第4回世話人会開催

JIA北海道支部住宅部会2012年度住宅賞 住宅レビュー



ハルニレ賞：堀尾浩

フキノトウ賞：大杉崇



第五回JIA「テスクチャレンジ設計コンペ」

第五回を迎えた当コンペだが今回は年度またぎとなり公開審査の予定が2014年6月の予定である。したがって2013年度内の活動の状況を途中経過として報告します。2013年12月5日、第一回目の企画会議を行い、第五回コンペのテーマや全体スケジュールの検討を開始しました。前回のコンペの教訓を生かし審査委員長が翌年のコンペの企画に参加する方式を今回から導入しました。審査委員長の任期を2年とし企画委員としてコンペの企画に参加し次の審査委員長に受け渡すというスタイルにすることで審査委員長の経験値を翌年のコンペの企画に生かすことが可能になり同時に次の審査委員長に対する引継ぎや情報共有もスムーズになることを狙ったものです。

テーマ：「五感リノベ」身体感覚を活かしたリノベーションで北国のポテンシャルを引き出せ！

■企画会議の様子

J I A北海道支部 2013年度支部事業 事業委員長 小杉朋希 コンペ実行委員長 大杉 崇

日時 2013年12月5日（木） 18：30～20：30

場所 札幌市西区区民センター 会議室

審査 委員長 齋藤雅也 （北海道札幌市立大学デザイン学部大学院デザイン研究科准教授）

委員 上遠野 克 （建築家 J I A北海道支部支部長）

丹 英司 （㈱テスク代表取締役社長）

山田 深 （室蘭工業大学大学院くらし環境系領域建築ユニット准教授）

石塚和彦 （建築家 石塚和彦アトリエ一級建築士事務所 代表）

後援 国土交通省北海道開発局、北海道、地方独立行政法人 北方建築総合研究所、札幌市、札幌商工会議所、財団法人 北海道建築指導センター、社団法人 日本建築家協会東北支部、社団法人 日本建築学会北海道支部、社団法人 北海道建築士会、社団法人 北海道建築士事務所協会、社団法人北海道建築技術協会、社団法人 インテリア産業協会北海道支部、社団法人 日本建築積算協会北海道支部、一般社団法人 日本建築構造技術者協会北海道支部、北海道インテリアプランナー協会、北海道インテリアコーディネーター協会、新建築家技術者集団北海道支部、北海道デザイン協議会、株式会社 テレビ北海道、FMノースウェーブ、株式会社 札幌社、株式会社 北海道建設新聞社、株式会社 北海道住宅通信社、㈱リフォーム産業新聞社、㈱北海道新聞社